様式第３号（第１３条関係）

会議録

<table>
<tr><td>会議の名称</td><td>令和８年度第３回朝霞第三中学校学校運営協議会</td></tr>
<tr><td>開催日時</td><td>令和８年１０月２４日（土）
午前１１時２０分から午後０時４０分まで</td></tr>
<tr><td>開催場所</td><td>朝霞市朝霞第三中学校　図書室</td></tr>
<tr><td>出席者の職・氏名</td><td>・会長　白鳥　成章　・副会長　渡辺　聡
・委員　關野　武男　・委員　正野　寛樹　・委員　中村　菜々子
・校長　野口　邦彦　・教頭　犬木　勝
・司会：猪狩　一史（教頭）　・記録：金田　昌大（主幹教諭）</td></tr>
<tr><td>欠席者の職・氏名</td><td>・委員　金子　雅美　・委員　後藤　顕一</td></tr>
<tr><td>議題</td><td>（１）２、３学期の教育活動について
（２）令和８年度学校評価について
（３）朝霞第三中学校　教職員の働き方改革の取組状況について
（４）その他</td></tr>
<tr><td>会議資料</td><td>（１） 学校評価関係資料
（２） 朝霞第三中学校　教職員の働き方改革の取組状況
（３） カスタマー・ハラスメント防止措置について
（４） 令和７、８年度朝霞市教育委員会研究開発学校指定発表会案内
（５） 朝霞三中校区ふれあい推進事業</td></tr>
<tr><td rowspan="6">会議録の作成方針</td><td colspan="2">□電磁的記録から文書に書き起こした全文記録</td></tr>
<tr><td colspan="2">☑電磁的記録から文書に書き起こした要点記録</td></tr>
<tr><td colspan="2">□要点記録</td></tr>
<tr><td colspan="2">□電磁的記録での保管（保存年限　　年）</td></tr>
<tr><td>電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間</td><td>☑会議録の確認後消去
□会議録の確認後　か月</td></tr>
<tr><td colspan="2">会議録の確認方法　司会・記録　による確認</td></tr>
<tr><td>傍聴者の数</td><td>0 人</td></tr>
<tr><td>その他の必要事項</td><td></td></tr>
</table>

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

１　会長あいさつ

・学校とＰＴＡ、学校運営協議会の在り方や活動について、発信する方法を考えていかなければならない。

２　学校長あいさつ

・本校の現状について、日頃より格別のご協力をいただいていることに感謝している。
・生徒は中間テストを終えて、合唱コンクールに向けて取り組んでいる。
・令和９年度の本校の生徒数に係る学級数、通級指導教室の設置予定について。
・朝霞市内全体を通して、児童、生徒数が増加傾向にある。
・本校の部活動の実績状況。陸上競技部や剣道部の、関東大会や全国大会の活躍について。
・１１／１３（金）研究発表に向けての取組状況や参観のお願い。

３　協議

（１）　２、３学期の教育活動について

●事務局より説明

・２学期の教育活動について。本日の学校公開日に小学生等も含めて多くの来校者がいること。先日ＰＴＡ美化活動が行われ、保護者、職員、生徒で第２グラウンドの整備を行った。
・ふれあい推進事業について、昨年度の様子も含めて説明。今年度参加への依頼。
・９月実施の三中校区小中連携推進協議会について。教職員の主体的な活動ができた。今後も様々な場面で小中連携を行っていく。
・校長の「メディアリテラシー」に関する教育講演会を、１２月に保護者向け実施する。
・先日、朝霞市長があいさつ運動に参加された。本校では毎朝行っている。
・生徒が自発的なあいさつ運動を行い、その輪が広がっている。生徒会役員選挙の様子から自治的な活動が広がっている。
・研究発表に向けて、教職員全体で取り組んでいる。計画的に、教育委員会の指導主事から指導を受けている。
・若手教職員に向けた研修会を行った。経験層で連携を取りながら日々の教育活動に取り組んでいる。
・生徒は合唱コンクールに向けてクラスごとに取り組んでいる。今年度、クラス数増加に伴い実施方法の変更がある。

委員Ｂ：「協働的な学び」とは、具体的にどのような課題解決に向けて取り組んでいるのか。

事務局：教科によって異なる。一つの課題に対して、多角的な視点を意図的に教師側が与えることで生徒たちの価値観や思考の広がりが見られる。答えは一つかもしれないが、たどり着く方法は様々であることを教えることができる。

校　長：様々な方法（解き方等）を用いることで生徒の引き出しが増える。

委員Ｂ：このような取組は、ここ数年の出来事なのか。

校　長：今までも同じような取組はあったが、近年は意識が高まっている。

事務局：このような取組を通して、学力調査等において「心理的安全性」が確保できているデータも取れている。また、２年前より意図的にソーシャルスキルト

レーニング等を取り入れていることも効果が出てきているのかもしれない。
委員Ａ：外国籍の生徒同士のコミュニティが学校内でできていることはいいが、その他の生徒との分断がないか心配される。
校　長：今現在大きなことは報告が上がっていないが、継続して様子を見ていく。

（２）令和８年度学校評価について
●事務局より説明
・今年度も学校関係者評価をお願することになる。
・今年度から保護者向けアンケートを記名式で行いたい。

会　長：保護者アンケートを記名式にすることに賛成する。記名式にすることで保護者にアンケートに責任を持たせることができるのではないか。また、学校側も回答へ対応がしやすいのではないか。
委員Ａ：普段の学校の状況を踏まえて評価したいところだが難しい。アンケート結果を示していただき、それに即して今年度も学校関係者評価を行っていく。
副会長：回答するのが難しい質問項目もあるので、今後文言について見直しも必要になってくるのではないか。

（３）朝霞第三中学校　教職員の働き方改革の取組状況について
●事務局より説明
・朝霞市役所ホームページに市としての取組が掲載されている。それを受けて、今年度より各校での取組状況を各校ホームページに掲載している。本校でも様々な課題があるが、特に若手職員の業務改善が必要である。そのため、若手職員を対象に『働き方意識改革』研修を２度実施した。

委員Ｂ：このような取組は、他校でも見られるのか。
校　長：他校でも見られるが、本校は現状における課題を把握し、課題に即した研修会等を実施している。
委員Ｂ：近年に見られる取組なのか。
校　長：数年前だと、放課後の職員室などで見られた光景かもしれないが、今は様々なことが複雑化してきており、意図的に機会を設けないとコミュニケーションを図れない場合も出てきている。
委員Ｃ：時代に即して取り組まれていることが素晴らしい。
校　長：この他にも中堅・ベテラン教員が若手教員の悩みに答える機会や教職員レクリエーション事業などを設けている。
副会長：異動した初めにこのような機会を設けてもいいのではないか。
委員Ａ：校務支援システムの効果は即効性がある。継続的に進めてほしい。
委員Ｃ：先生方が幸せなことが生徒たちの幸せにもつながってくる。
会　長：このような取組があり、授業の雰囲気がいいこととつながっている。

４　連絡
① カスタマー・ハラスメント防止措置について
② 朝霞市研究開発学校発表について
③ 朝霞三中校区ふれあい推進事業について
④ 第４回学校運営協議会日程について

５　閉会のことば　副会長より

・三中の素晴らしいところを再認識することができた。今後ともよろしくお願いしたい。